

今日のトピック

世界の「投信マネー」の投資先はどこか

10月は日本株ファンドと中国株ファンドが流入超

MMFが299億ドルの流入超

- 10月（第4週まで）の「投信マネー」は債券ファンドが▲304億ドルの流出超、株式ファンドが▲52億ドルの流出超となった一方、MMFは299億ドルの流入超となり、投信市場へ資金がとどまったようです。

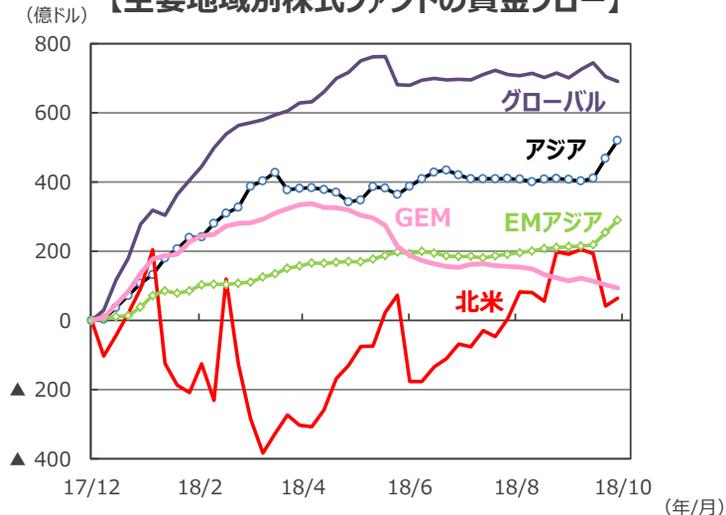
株式ファンドは「日本」と「中国」が流入超

- 株式ファンドフローは、株式全体で▲52億ドルと4か月ぶりに流出超に転じました。「日本」と「中国」への流入が目立ち、特徴的な流れが確認されました。
- 先進国は▲101億ドルですが、「アジア^(注3)」は113億ドルの大幅な流入超となりました。中心は「日本」（118億ドル）です。10月第3週（58億ドル）、第4週（53億ドル）と大幅な流入超となりました。また、「北米」は▲128億ドルの大幅な流出超となりましたが、10月第4週には22億ドルの流入超に転じました。
- 新興国は6か月ぶりに流入超に転じました。「EMアジア^(注4)」の流入超過額が76億ドルと大きく拡大（8月10億ドル、9月18億ドル）したことが要因です。中心は「中国」（65億ドル）でした。
- 世界の株式市場は、10月以降大きな変動が続いていますが、投信マネーはMMFで資金を滞留しつつ、出遅れ感の目立つ市場へと資金を振り向けたと見られます。

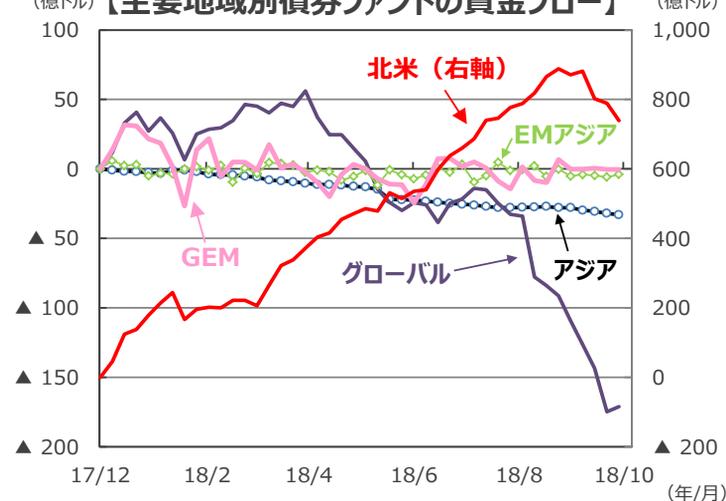
債券ファンドは「北米」が8か月ぶりの流出超

- 債券ファンドは先進国が▲277億ドルと「北米」（▲132億ドル）を中心に大幅な流出超となりました。「北米」の流出超は8か月ぶりです。新興国は▲26億ドルと3か月連続の流出超でした。

【主要地域別株式ファンドの資金フロー】



【主要地域別債券ファンドの資金フロー】



(注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2018年9月末現在33.8兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。
 (注2) データは2017年12月～2018年10月。週次ベース。2017年12月からの累計。2018年10月は第4週まで。
 (注3) 「アジア」は日本、豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール。
 (注4) 「EMアジア（新興アジア）」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。
 (注5) 「GEM」はGlobal Emerging Markets（世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称）。
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**

2018年10月24日 日本株式市場が堅調さを取り戻す条件
2018年10月23日 米国株式市場は引き続き米中貿易摩擦が焦点

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。